

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1190900090		
法人名	医療法人 佳和会		
事業所名	グループホームわきあいあい		
所在地	埼玉県久喜市栗原296番地3		
自己評価作成日	令和8年3月28日	評価結果市町村受理日	令和8年4月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート		
所在地	東京都練馬区東大泉3-37-2		
訪問調査日	令和8年3月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の尊厳を大切に保ちながら、その人らしい生活を送ることが出来るよう、安全で安心して、過ごされて自分で出来ることは、自分で行って頂くよう、援助していきます。個々のQOLの向上を目指した支援を行います。職員のスキルアップをより以上目指して研修や講習など参加し日々の介護に対するしせいを改めて見直し信頼して頂ける支援を心掛けます。ご家族様と職員が情報を共有しながら、ご本人様にとって一番良い方法を選択できるようにつとめていきたいと思ひます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

支援のコンセプトとして「健康・安心・いきがい」という3つのキーワードを軸にしており、利用者の家庭的な生活をサポートしています。
 ●歌唱や塗り絵など利用者の嗜好や趣味を活かしたレクリエーションを実施しています。新聞紙折り、洗濯物量みなど習慣の継続にも支援がなされています。
 ●利用者の体調変化については特に注視しており、入浴時のスキンチェックから変調を確認しするよう取り組んでいます。
 ●年間で行事計画を立案し、利用者のリフレッシュや楽しみとなるよう取り組んでいます。桃の花まつりへ利用者全員での参加が実現しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「皆様の尊厳を大切にさせていただきます」理念を掲げ、職員全員が意識して取り組んでいます。	法人インターネットサイトにはホームのページが設定され、「思い」が掲載されている。管理職の牽引、職員のチームワークにより理念の実践が図られている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の皆様との交流を継続できるように挨拶など、声を掛けさせていただいております。	ハーモニカ演奏のボランティア来訪等地域とのつながりが作られている。オーナー・近隣から就労する職員が親睦への一助となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員が研修に参加し認知症への理解を深める。地域の方への理解を求めることで利用者様が地域の中で生活しやすいよう援助する。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者同士での意見交換・情報交換を密に行い今後のケアへ反映させることで、より良い介護の提供をする。	これまでの運営推進会議開催は、関係機関との連携、意見の運営への取り入れなどに役立てている。諸事情による中断から再開が予定されている。	来年度近隣・家族等の招待による再開を予定しており、さらなる地域交流のきっかけとなることが期待される。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問・不明な点は相談し円滑に業務が遂行できるようサポートして頂いている。	利用者の安定した生活のため、関係各課とのやりとりにあたっている。協調した支援を進めるよう関係構築に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在拘束者はいないが今後もゼロを目指すため身体拘束適正化委員会で話し合い、職員全体で拘束に対する知識の共有をしている。	身体拘束廃止委員会を設定・開催し、適切な支援実践に取り組んでいる。研修の実施・都度の指導により支援の向上に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会にて勉強会を行い虐待への知識を職員で共有することで小さな虐待も見逃す事のないよう個々が意識している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見人制度について理解を深め、必要性を十分に理解している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	サービス利用契約書と重要事項説明書を用いて本人・家族へ丁寧な説明を心掛け、同意・理解を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より相談しやすい環境・信頼関係の構築を心掛けている。また、運営推進会議で要望・意見の聞き取りをし対応している。	面会や通院同行への支援を通して利用者との関係維持に努めている。写真入りの便りを送付し、状況の報告にあたっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間での申し送りの徹底を心掛けている。申し送りノートの活用することで情報共有し対応している。	日々の気づきを共有し、支援への反映に努めている。利用者の様子を細かに記録し、振り返りでの活用に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を真摯に受け止め、他事業所との交流で情報の共有を行い改善する点は参考にし対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修を行い、疑問点・不明点がある際はその場で解決できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連会社と交流を図り、情報交換・共有をしサービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の信頼を得るため話しやすい環境・雰囲気作りを大切にしている。コミュニケーションの重要性を職員全員が理解する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人同様、家族へ配慮し信頼していただけるよう環境整備などにも力を入れ環境作りを徹底している。コミュニケーションの重要性を職員全員が理解する。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の実調・面談・見学の際から本人・家族への聞き取りを行い情報収集をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分らしくを念頭に置き、自身で行えることは安全確保し見守りに徹する。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の規制をなくすことで、家族の都合のいい時に来所できるようにしています。来所時は情報の共有をし現在の本人の様子を伝え家族へ理解を得ている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自立度の高い方は自室を本人の好みに飾っている。また、入居前に使用していた物を持ち込むことで安心感を得られるようにしている。	歌唱や塗り絵など利用者の嗜好や趣味を活かしたレクリエーションを実施している。新聞紙折り、洗濯物畳みなど習慣の継続にも支援がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員で行えるレクレーションを定期的に行い、利用者同士がコミュニケーションを図れる工夫をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も必要関係者を通して情報共有を行い、相談が協力をするよう取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人からの意見を聞く事以外にも声に出さない些細な変化も見落とさないように努めている。その都度、職員間で話し合い必要時は主治医へ報告・相談し連携を取っている。	多様な利用者がいる中で、経験を活かしながら意向の把握に努めている。職員ミーティングにおいてもケースカンファレンスを実施し、利用者個々の検討に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前後で情報収集を行い、本人・家族へ確認し内容を職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルサイン測定をケース記録に記入し職員間で共有する。心身面の変化は記載し日勤帯・夜勤隊の様子を共有することで異常に迅速に対応することができる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング・ケアカンファレンスを行い、全員で話し合い問題点・課題を明確にし改善に努めている。	支援のコンセプトとして「健康・安心・いきがい」という3つのキーワードを軸にしている。これらに家族等のニーズを併せてケアプラン策定に取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日頃から職員間での情報共有の徹底。モニタリング・ケアカンファレンスの際に問題点などを踏まえ計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス計画は3～6ヶ月で見直す状況に応じて見直し変更している。本人の変化に気づけるよう職員間の状況共有を徹底している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近隣のスーパーで買い物をする ・節水を心掛けています ・廃棄物を減らす		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診時の報告・状態把握を職員間で共有する。日々の状態変化に気づけるよう対応する。月1回、往診・薬の処方、週1回歯科往診がある。	法人のクリニックによる往診により利用者の健康維持に取り組んでいる。また、訪問歯科の利用により口腔維持・整容も図られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診時に看護師へ普段から情報提供することで異常の変化にも迅速に対応できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院中は家族・医療機関との連絡を密に取り現状の把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りについてのインフォームドコンセントを行っている。家族へ理解して頂いたうえで必要になった際は再度、説明している。	入居時に重度化と終末期への支援について説明し、同意書面を得ている。入浴支援等工夫をもって対応に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員が緊急マニュアルを参考に動けるよう設置し対策している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練と災害対策の研修を行い、地域との連携も築けるよう日々努力している。	夜間想定・消火等により避難訓練を実施している。リスクを考慮し、水害時にも法人内他事業所への避難などを想定している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	QOLの向上を目指し、尊厳を大切にしている。安全面の確保をしつつ本人に合ったケアの提供をしプライバシーの保護に努めている。	利用者との会話を通して関係構築に努めている。利用者を尊重しながら笑顔が絶えない場となるよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアを行う際の声がけを大切にしています。本人に確認しながら行うことで強要・強制することなく行えています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	タイムスケジュールを基に行うことなく本人を尊重し自由な環境を取り入れる事で信頼関係の構築にも繋がっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自立をされている方は本人の希望で更衣・整容されています。介助が必要な方も清潔に留意し更衣などの援助している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日にはケーキを用意し全員で祝っている。食事には力を入れているので食器や食形態に至るまで個性のあるものを提供している。	栄養バランスを考慮し、真心こめた食事提供に努めている。医師と相談しながら健康維持を図っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一度に飲水出来ない方に関しては時間を空けて提供するなどの方法を取り、必要量の提供に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自身で行えている方でも見守り確認している。週1回歯科往診があるため情報共有している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	訴えの無い方は誘導している。排泄サイクルをケース記録を活用し把握することで汚染することなく誘導が行なえるよう努めている。	記録・間隔の確認・医師への相談を通して適切な排せつ支援に取り組んでいる。利用者の状態にあわせた誘導等サイクルを意識しながらケアが進められている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動(体操)を取り入れ、便秘に倣いように対策している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴で、一人ずつ浴室に誘導してご本人の希望を尊重しています。	手すりの設置など安全な入浴となるよう配慮がなされている。入浴時のスキンチェックから変調を確認しするよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後に居室で昼寝される方やソファで休息される方など自由にされています。夜間帯はテレビを見ていたり、読書したり、自由にして熟睡されています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬を個人別にセットして職員2名が確認し合い、直接、手渡して飲み込むまで確認しています。服薬確認シートを活用しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	塗り絵、手芸、計算ドリル、間違い探し、ゲーム、折り紙、など職員と共に行なっており楽しんでいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	直ぐ地殻の公園に歩いて行き、車で入居者様全員でポピー、桜、秋桜など見に行き軽食出し楽しんでいます。	年間で行事計画を立案し、利用者のリフレッシュや楽しみとなるよう取り組んでいる。桃の花まつりへ利用者全員での参加が実現している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方のみ、お金を持ち自分の趣味の手芸の材料とか本を職員に買ってきて貰い、他の方は家族と一緒に買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からの電話を取り次いだり伝言を入居者様に伝えたりしている。現在手紙のやり取りをしている入居者様は、いない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの大きな窓からの採光と換気が心地よく感じられています。外の木々や遠くに見える圏央道などで癒されています。居室や共有スペースは職員が清掃を行い環境整備を行なっています。	利用者の制作物を共有スペースへの掲示は、温かな雰囲気作りへの一助となっている。日々の丁寧な清掃を通して清潔な環境が維持されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにテーブル席とソファース席があり、ご本人が好きなところで過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談して、入居前に使用していた家具などを持ってきて頂き自宅に居た時と変わらない雰囲気作りを、心掛けています。	日中は主にリビングで皆と過ごすことが多いものの、居室ではテレビ鑑賞や読書など自身の楽しみに興じている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設は平屋建てのユニットで共有スペースから建物全体が見渡せ物音も良く聞こえます。入居者様の介助や見守りなどを行っています。		

(別紙4(2))

事業所名：グループホームわきあいあい

目標達成計画

作成日：令和8年4月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	4	現状、運営推進会議の実施がされておらず、地域との交流が著しく低下している	運営推進会議を年3回施行する	近隣住民への声掛け 日常的に近隣住民とのコミュニケーションの機会を設ける 野外レクリエーション活動の機会を増やす	4ヶ月
2	34	感染症の対応強化 すべての職員が迅速に対応できることが望ましい	スタッフの危機管理能力の向上	日常的に清潔・不潔に対する区別を明白にする うがい手洗いの実施(利用者・職員) 定期的な勉強会の実施 感染リスク(季節的・感染経路)再確認	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。